

新機種紹介

機関誌編集委員会

▶ 〈02〉掘削機械

14-〈02〉-11	コベルコ建機 小型油圧ショベル (後方超小旋回型/超小旋回型) SK75SR-3E, SK80SR+-3E, SK80UR-6E	'14.11 発売 新機種
------------	--	------------------

後方超小旋回型のコンパクトな機体により、作業占有幅3m (SK80UR-6Eは2.55m)での180°旋回が可能であり、道路、都市土木などのスペースの限られた現場においても安全に効率よく重機作業を行うことができる小型油圧ショベルである。

燃費性能向上のため、従来から標準装備しているAIS（オートアイドリングストップ）機能に加え、新作業モード「ECOモード」を設定し、従来機のSモード（省エネ・燃費重視モード）に対して、約27%の燃費低減を図っている。

特定特殊自動車排出ガス2011年基準適合のエンジンを搭載しており、電子制御3ポンプ油圧システムの採用により、燃費性と作業性の向上を両立させている。また、独自のエンジン冷却システムiNDr（アイ・エヌ・ディー・アール）により、エンジンルーム内の防塵性とメンテナンス性を確保し、超低騒音型建設機械の基準値（93dB）をクリアしている。

ROPS（転倒時保護構造）規格に適合（SK80UR-6Eは除く）した新型キャブを採用し、キャブ内空間を拡大すると共に、右中央ピラー廃止によりワイドな作業視界を確保し、運転時の安全性と快適性の向上を図っている。

表—1 SK75SR-3Eの主な仕様

標準バケット容量（山積）	(m ³)	0.28
運転質量	(t)	7.44
定格出力	(kW/min ⁻¹)	41/2,000
最大掘削半径	(m)	6.48
最大掘削深さ	(m)	4.16
最大掘削高さ	(m)	7.41
最大ダンプ高さ	(m)	5.34
旋回速度	(min ⁻¹ rpm)	11.5 11.5
走行速度 高速/低速	(km/h)	5.3/2.6
登坂能力	% (度)	70 (35)
クローラ全幅	(m)	2.30
標準シュー幅	(m)	0.45
全長×全幅×全高（輸送時）	(m)	5.83×2.30×2.55
価格（税抜き）	(百万円)	11.5

表—2 SK80SR+-3Eの主な仕様

標準バケット容量（山積）	(m ³)	0.28
運転質量	(t)	8.35
定格出力	(kW/min ⁻¹)	41/2,000
最大掘削半径	(m)	6.48
最大掘削深さ	(m)	4.30
最大掘削高さ	(m)	7.50
最大ダンプ高さ	(m)	5.43
旋回速度	(min ⁻¹ rpm)	11.5 11.5
走行速度 高速/低速	(km/h)	5.3/2.6
登坂能力	% (度)	70 (35)
クローラ全幅	(m)	2.30
標準シュー幅	(m)	0.45
全長×全幅×全高（輸送時）	(m)	6.15×2.30×2.58
価格（税抜き）	(百万円)	12.8

表—3 SK80UR-6Eの主な仕様

標準バケット容量（山積）	(m ³)	0.28
運転質量	(t)	8.12
定格出力	(kW/min ⁻¹)	41/2,000
最大掘削半径	(m)	6.48
最大掘削深さ	(m)	4.30
最大掘削高さ	(m)	7.50
最大ダンプ高さ	(m)	5.43
旋回速度	(min ⁻¹ rpm)	11.5 11.5
走行速度 高速/低速	(km/h)	5.3/2.6
登坂能力	% (度)	70 (35)
クローラ全幅	(m)	2.30
標準シュー幅	(m)	0.45
全長×全幅×全高（輸送時）	(m)	6.15×2.30×2.62
価格（税抜き）	(百万円)	12.9



写真—1 コベルコ建機 SK75SR-3E 油圧ショベル（後方超小旋回型）

コベルコ建機(株) 営業促進部

〒141-8626 東京都品川区東五反田2丁目17番1号

（オーバルコート大崎マークウエスト）

新機種紹介

▶ 〈02〉 掘削機械

14-〈02〉-12	日立建機 ミニショベル（後方超小旋回型） ZX17U-5A	'14.10 発売 新機種
------------	-------------------------------------	------------------

一般土木工事をはじめ、設備管工事、造園工事、解体工事など、幅広い用途で使用する 1.5 トンクラスの後方超小旋回型ミニショベルであり、国土交通省第 3 次排出ガスおよび、超低騒音型建設機械の基準値に適合している。

機能面では、「ユーザーフレンドリーなミニショベル」をコンセプトとしている。

全操作油圧パイロット式および狭い所を通過できる可変脚式クローラ & ブレードにより操作性の向上を、ゆったりと座れる運転席、雨溝付きの大型ルーフにより居住性の向上を図っている。大きく開くメンテナンスカバーにより整備性を向上し、燃料給油口を大きくして迅速な給油を可能とし、および冷却装置（ラジエータ、オイルクーラ）の並列配置により埃やごみの除去を容易にしている。

また、作業現場への移動の際に、2 トン車への積み込みが可能な機械質量（標準仕様装着時）である事や、クローラ全幅を 1,000mm 以内に伸縮できる「可変脚式クローラ & ブレード」を標準装備している。狭い現場への移動や輸送時は縮めて使用し、掘削時は拡張して使用することで、高い安定性を発揮する。

表—4 ZX17U-5A の主な仕様

標準バケット容量	(m ³)	0.044
最大掘削深さ	(mm)	2,190
最大掘削半径	(mm)	3,810
最大掘削高さ	(mm)	3,540
機械質量	(kg)	1,620
エンジン定格出力	(kW (PS) / min ⁻¹)	10.6 (14.4) / 2,400
走行速度 高速／低速	(km/h)	4.2／2.4
登坂能力	(度)	25
接地圧	(kPa)	27
最低地上高	(mm)	165
クローラ全幅	(mm)	収縮時 980／拡張時 1,280
シュー幅	(mm)	230
全長 × 全幅 × 全高（輸送時）	(mm)	3,500 × 990 × 2,370
価格	(百万円)	2.85

注）単位は国際単位系による SI 単位表示。消費税別。寸法、価格は 2 柱キャノピ仕様となります。



写真—2 日立建機 ZX17U-5A ミニショベル

問合せ先：日立建機㈱ 経営管理本部 広報戦略室 広報グループ
〒 112-8563 東京都文京区後楽二丁目 5 番 1 号

▶ 〈03〉 積込機械

14-〈03〉-09	コマツ ホイールローダ WA270-7	'14.09 発売 モデルチェンジ
------------	---------------------------	----------------------

オフロード法（*1）2011 年基準に適合し、NOx（窒素酸化物）と PM（粒子状物質）の排出量を従来機に比べて大幅に低減し、日本（特定特殊自動車排出ガス 2011 年基準）・北米（EPA Tier4 Interim）・欧州（EU Stage 3B）の排出ガス規制に対応している。油圧システム・走行システム・エンジンを最適にコントロールする協調制御システム「コマツ スマートローダロジック」や 2 モーター方式「新電子制御 HST」により、生産性と燃費性能の両方で高いレベルを達成し、燃料消費量を従来機に比べ 8% 低減（*2）している。

車両後方確認用のリヤビューカメラ・モニタと、前面下部のガラスエリアを拡大した大型ビラーレス ROPS キャブにより、良好な視界を確保し、安全性を高めている。運転席には高精細 7 インチ LCD モニタを装備し安全かつ正確で円滑な作業を実現するとともに、エコガイダンス等の表示により省エネ運転のサポートを行っている。

さらに、国内で初めてパワーラインの保証延長と無償メンテナンスを取り入れた、サービスプログラム「KOMATSU CARE（コマツ・ケア）」を提供している。これは購入時に自動的に付帯されるもので、トータルライフサイクルコストの低減を図っている。

*1. 特定特殊自動車排出ガスの NOx（窒素酸化物）、PM（粒子状物質）排出量の規制等に関する法律。

*2. 従来機との比較（コマツテスト基準による）。実作業では作業条件により異なる場合がある。

新機種紹介

表—5 WA270-7の主な仕様

運転質量	(t)	12.61
エンジン定格出力 ネット	(kW [PS])	111 [151]
バケット容量		
ルーズマテリアル用 (BOC 付)	(m ³)	2.5
最大けん引力 (前進時)	(kN [kg])	116 [11860]
全長／全幅 (バケット幅)／全高	(m)	7.445/2.685/3.200
ダンピングクリアランス (45度前傾 BOC 先端まで)	(m)	2.875
ダンピングリーチ (45度前傾 BOC 先端まで)	(m)	1.03
最小回転半径 (最外輪中心)	(m)	5.175
価格 (工場裸渡し消費税抜き)	(百万円)	22.8

写真—3 コマツ WA270-7 ホイールローダー
(一部オプションが含まれる)

問合せ先：コマツ コーポレートコミュニケーション部
〒107-8414 東京都港区赤坂 2-3-6

▶ 〈06〉基礎工事機械

14-〈06〉-03	加藤製作所 全回転式オールケーシング工法アースボーリングマシン KB-1500R II	14.09 発売 新機種
------------	---	-----------------

全回転式オールケーシング工法用の大口径掘削機である。

ウィンチ及びブーム（マスト）を装備し本機のみで掘削作業を行うことが可能であり、油圧ユニットが不要である。

作業用エンジンユニットやケーシングドライバー（全回転装置）がクローラ式の走行装置に一体架装されているため、現場内の移動が容易である。またファーストケーシングを抱いたままの移動も可能である。

フロントアウトリガー内にサブバンドを装備し、ケーシングの引抜き作業時の安全を確保できるとともに、従来機に比べ小型の相判クレーンでの作業が可能である。

輸送時の本体幅を 2,980 mm、質量を 28,000 kg とし、従来機と比べ輸送を容易にしている。

エンジンは、2011 年基準の特定特殊自動車排出ガス規制に係る少数特例、及び国土交通省指定の低騒音型に適合している。

表—6 KB-1500R IIの主な仕様

最大掘削径	(mm)	φ 1,500
最大回転トルク	(kN-m)	1,275
回転数	(min ⁻¹)	0 ~ 2
引抜き力	(kN)	1,275
最大ウィンチ巻上力	(kN)	69
作業時機械質量	(kg)	56,500
輸送時本体質量	(kg)	28,000
定格出力	(kW/min ⁻¹)	2,000
価格 (税抜き)	(百万円)	165



写真—4 加藤製作所 KB-1500R II アースボーリングマシン

問い合わせ先：(株)加藤製作所 営業本部
〒140-0011 東京都品川区東大井 1-9-37